

# 200 および 300 シリーズ スイッチ ソフトウェア バージョン 1.1.1.8 リリース ノート

2011 年 9 月

このリリース ノートでは、次の製品のバージョン 1.1.1.8 ソフトウェアに関連する既知の問題と推奨される回避策について説明します。

モデル	説明	ポート
SF200-24	24 ポート 10/100 スマート スイッチ	e1 ~ e24, g1 ~ g2
SF200-24P	24 ポート 10/100 PoE スマート スイッチ	e1 ~ e24, g1 ~ g2
SF200-48	48 ポート 10/100 スマート スイッチ	e1 ~ e48, g1 ~ g2
SF200-48P	48 ポート 10/100 PoE スマート スイッチ	e1 ~ e48, g1 ~ g2
SG200-18	18 ポート ギガビット スマート スイッチ	g1 ~ g18
SG200-26	26 ポート ギガビット スマート スイッチ	g1 ~ g26
SG200-26P	26 ポート ギガビット PoE スマート スイッチ	g1 ~ g26
SG200-50	50 ポート ギガビット スマート スイッチ	g1 ~ g50
SG200-50P	50 ポート ギガビット PoE スマート スイッチ	g1 ~ g50
SG300-10	10 ポート ギガビット マネージド スイッチ	g1 ~ g10
SG300-10MP	10 ポート ギガビット PoE マネージド スイッチ	g1 ~ g10
SG300-10P	10 ポート ギガビット PoE マネージド スイッチ	g1 ~ g10
SG300-20	20 ポート ギガビット マネージド スイッチ	g1 ~ g20
SG300-28	28 ポート ギガビット マネージド スイッチ	g1 ~ g28
SG300-28P	28 ポート ギガビット PoE マネージド スイッチ	g1 ~ g28

モデル	説明	ポート
SG300-52	52ポート ギガビット マネージド スイッチ	g1 ~ g52
SF300-08	8ポート 10/100 マネージド スイッチ	e1 ~ e8
SF302-08	8ポート 10/100 マネージド スイッチ	e1 ~ e8, g1 ~ g2
SF302-08MP	8ポート 10/100 PoE マネージド スイッチ	e1 ~ e8, g1 ~ g2
SF302-08P	8ポート 10/100 PoE マネージド スイッチ	e1 ~ e8, g1 ~ g2
SF300-24	24ポート 10/100 マネージド スイッチ	e1 ~ e24, g1 ~ g4
SF300-24P	24ポート 10/100 PoE マネージド スイッチ	e1 ~ e24, g1 ~ g4
SF300-48	48ポート 10/100 マネージド スイッチ	e1 ~ e48, g1 ~ g4
SF300-48P	48ポート 10/100 PoE マネージド スイッチ	e1 ~ e48, g1 ~ g4

このリリース ノートに記載されている警告は、次の製品を対象とします。

SW バージョン : 1.1.1.8

Sx300 ブート バージョン HW 1.0 : 1.0.0.4

Sx200 ブート バージョン HW 1.0 : 1.0.0.1

Sx300 ブート バージョン 1.1.1.8 : 1.1.0.6

Sx200 ブート バージョン 1.1.1.8 : 1.1.0.6

## 目次

**「ハードウェア バージョン」 (P.3)**

**「アップグレード時の既知の問題」 (P.4)**

**「制限事項と制約事項」 (P.5)**

**「主な変更点と不具合の修正」 (P.10)**

**「関連情報」 (P.11)**

## ハードウェア バージョン

リリース 1.1.1.8 ファームウェアは、200 シリーズ スマート スイッチと 300 シリーズ マネージド スイッチ、それぞれ 2 種類のバージョンのハードウェア上で動作します。サポートされている MAC アドレス、アクティブ VLAN、およびマルチキャスト グループの数は、ご使用のハードウェアのバージョンに応じて異なります。詳細については、次の表を参照してください。

V1/V2 ハードウェア	MAC アドレス の合計数	アクティブ VLAN の合計数	マルチキャスト グループの 合計数
Sx200 (ファームウェア 1.0 HW VID=01)	8K	128	128
Sx200 (ファームウェア 1.1.1.8 HW VID=01)	8K	256	256
Sx200 (ファームウェア 1.1.1.8 HW VID=02)	8K	256	256
Sx300 (ファームウェア 1.0 HW VID=01)	8K	256	256
Sx300 (ファームウェア 1.1.1.8 HW VID=01)	8K	256	256
Sx300 (ファームウェア 1.1.1.8 HW VID=02)	16K	4K	1K

ご使用のハードウェアのバージョンを確認するには、[ステータスと統計情報] > [システムの要約] をクリックします。画面下部で、スイッチのグラフィック表示の下に表示される PID VID を確認します。記述子の末尾が VID 番号に相当します。バージョン情報は、スイッチ背面の製品ラベルにも記載されています。PID VID は、ラベルの一番下に記載されています。

### アップグレード時の既知の問題

リリース 1.0 から 1.1.1.8 へのアップグレードに伴う問題と、それに対する有効な回避策を次に示します。

- 問題 1：リリース 1.0 から リリース 1.1.1.8 へのアップグレード後、バックアップ コンフィギュレーションが使用不可になる。  
回避策：次の 3 つの手順を実行することで、コンフィギュレーション ファイルが使用可能になります。
  - HTTP / TFTP 経由でバックアップ コンフィギュレーション ファイルをダウンロードします。
  - ファイルの末尾にある破損した部分（ランダムな文字の連続）を削除します。
  - コンフィギュレーションをスイッチにアップロードし直します。
- 問題 2：自動コンフィギュレーション オプション 66/67：自動コンフィギュレーション（オプション 66/67）によって、TFTP サーバからコンフィギュレーション ファイルがスタートアップ コンフィギュレーションにダウンロードされた場合、構文エラーまたはコンフィギュレーション ファイルが原因となり、スイッチがリブートしなくなる。これは、リリース 1.0 とリリース 1.1.1.8 のコマンド間に互換性がないことに起因します。
- 問題 3：リリース 1.0 から リリース 1.1.1.8 へのアップグレード後、一部のコンフィギュレーションがエラーになる可能性がある。影響を受けるコンフィギュレーション コマンド / 機能としては、次のものがあります。
  - `http/https` アイドル タイムアウト コンフィギュレーションが削除される。  
回避策：`http/https` アイドル タイムアウトを再設定します。
  - アップグレード後、QoS 拡張コンフィギュレーション（クラス マップ、ポリシー マップ、集約ポリサーなど）は適用されず、削除される。  
回避策：スタートアップ コンフィギュレーションをスイッチからローカル PC/ホストにバックアップした上でアップグレードを実行し、アップグレード後、失われた QoS 拡張コンフィギュレーションを再設定します。
  - `ip http authentication` コマンドの非互換 (Bugs133551) により、アクセス方式のコンフィギュレーションに問題が生じる可能性がある。  
回避策：アップグレード後、`ip http authentication radius tacacs local` を `ip http authentication aaa login-authentication radius tacacs local` に置き換える必要があります。
  - `username` コマンドの非互換により、ユーザの作成時に問題が生じる可能性がある。

回避策：アップグレード後、リリース 1.1.1.8 のユーザ作成コマンドに置き換えます。次に例を示します。

```
1.0.0.x—username cisco password
```

```
da39a3ee5e6b4b0d3255bfef95601890afd80709 level 15  
encrypted
```

```
1.1.1.8—username cisco password encrypted
```

```
59892959e6c8d6d726a97e11c3da0e5c2e856cd5 privilege 15
```

- コンフィギュレーション ファイル内で VLAN データベースが 2 回重複して定義される。スイッチの機能自体には影響しません。
- 問題 4：リリース 1.1.1.8 へのアップグレード後、リリース 1.0 の第 2 言語ファイルが無効になる。  
回避策：リリース 1.1.1.8 の言語ファイルをダウンロードします。

## 制限事項と制約事項

**問題：** GUI から有効にした場合、SNTP ブロードキャスト受信は正常に機能します。これに対して、CLI から設定した場合、ブロードキャスト クライアントは正常に同期化されません。(Bugs00133199)

**解決策：** CLI から SNTP クライアントを設定する場合、SNTP クライアントが初期化されて実行されるよう SNTP を設定した後に、clock source コマンドを実行します。

**問題：** レイヤ 3 モードでは、SNTP ブロードキャストは CLI からしか操作できません。

**解決策：** 回避策はありません。

**問題：** 特定のポートでショート リーチオプションがオンになっている場合、EEE オプションは淡色表示になりますが、EEE LLDP は淡色表示になりません。ただし、オンになっている状態で、[適用] ボタンをクリックすると、適切なエラー メッセージが表示されます。(Bugs00132049)

**解決策：** ショート リーチ モードを使用する場合、EEE と EEE LLDP の両方をオフにします。ショート リーチ モードをオンにして、EEE LLDP をオンにしないでください (オンにした場合、エラー メッセージが表示されます)。

**問題：** 自動ネゴシエーションが無効な場合、EEE 動作ステータスは無効になります。(Bugs00132106)

**解決策：** ポートの速度が 1 ギガビットの場合、EEE の動作状態に対して、自動ネゴシエーションによる影響はありません。

**問題：** 音声 VLAN はゲスト VLAN として設定されるべきではなく、もし設定した場合は、ユーザに警告が表示されるのが正常な動作ですが、このように動作しません。  
(Bugs00132684)

**解決策：** 音声 VLAN をゲスト VLAN として設定することも、ゲスト VLAN を音声 VLAN として設定することも避けてください。

**問題：** コンフィギュレーション情報をポート間でコピーしても、設定の一部はコピーされません。

- ポート セキュリティ設定を別のインターフェイスにコピーした場合、[セキュリティ]>[ポートセキュリティ]ページの[トラップ]および[トラップ間隔]の設定値のコピーに失敗します。(Bugs00132724)
- 設定をポート間でコピーした場合、[VLAN 管理]>[インターフェイス設定]ページの[設定のコピー]機能では [管理 PVID] が反映されません。  
(Bugs00132132)

**解決策：** ポート設定は一度にすべてではなく、個別に設定してください。

**問題：** Mrouter ラーニング モードを [ユーザ定義] または [自動] に切り替えた場合、IGMP クエリアの選択処理が開始されません。(Bugs00132805)

**解決策：** [IGMP スヌーピング] をいったん無効にしてから有効にし直すと、Mrouter ラーニング モードを変更するたびに、クエリアの選択処理が開始されます。

**問題：** 送信元固有のマルチキャスト フィルタリングは、Bonjour または VSDP が有効になっている状態の VLAN ではサポートされていません。(Bugs00131405)

**解決策：** 回避策はありません。

**問題：** 送信元固有の IPv6 マルチキャスト グループの設定は禁止モードで想定どおりに実行されますが、Web ユーザ インターフェイスには反映されません。(Bugs00132433)

**解決策：** グループ メンバシップは CLI インターフェイスから確認してください。

**問題：** Windows XP が動作しており、Internet Explorer バージョン 6 を使用している PC では、一部のグラフィックが正しい色で表示されません。(Bugs00133242)

**解決策：** 回避策はありません。

**問題：** Windows XP が動作しており、Firefox バージョン 2.0.0.20 を使用している PC では、Web ユーザ インターフェイスの一部のページがロードされません。  
(Bugs00133243)

**解決策：** 回避策はありません。

**問題：**一部の Web GUI ページでは、JRE、ブラウザ、および JRE とブラウザのアプレットのバージョン全体の互換性が必要になります。XML の互換性の理由から、IE ブラウザを使用する場合は、MSXML DLL バージョン 6 が必要になります。

**解決策：**ダウンロードとインストールの詳細については、次のリンクを参照してください。

[www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=993C0BCF-3BCF-4009-BE21-27E85E1857B1&displaylang=en](http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=993C0BCF-3BCF-4009-BE21-27E85E1857B1&displaylang=en)

**問題：**パラメータに誤りや不備があると、[通知受信者] テーブルのエントリが編集不可になります。(Bugs00133316)

**解決策：**テーブルのエントリとして不適切な値には、アスタリスクが表示されます。この原因としては、ユーザやビューなどの削除が考えられます。いずれかの値に誤りがあると、そのエントリは編集不可になります。編集不可になったエントリを編集するには、ユーザやビューなどを先に追加してください。値が正しいかどうかにかかわらず、[削除] ボタンは機能します。

**問題：**SNMPv3 通知認証の設定がユーザ認証の設定と関連付けられていません。(Bugs00133074)

**解決策：**ユーザ側で、ユーザのグループおよびユーザ自身に対して設定された認証とプライバシー設定を覚えておき、適切な認証とプライバシー設定を選択する必要があります。

**問題：**SNMPV3 ユーザの設定時に、16 進形式のキーを使用して、認証キー (SHA または MD5 方式) を指定する方法はサポートされていません。(Bugs00132885)

**解決策：**代わりに、パスワード形式を使用してください。16 進形式のキーを使用して設定する必要がある場合は、Web ユーザ インターフェイスを使用してください。

**問題：**ケーブル長が 100 メートルの場合、ケーブル長テストで正しい結果が得られません。110 ~ 140 メートルの範囲が結果として示されます。(Bugs00132941)

**解決策：**回避策はありません。

**問題：**インターフェイスに適用できる IPv6 ACE の最大数は、マニュアルに記載された 512 ではなく、244 です。「HW リソース不足のため適用できません」というメッセージがユーザに表示されます。(Bugs00130161)

**解決策：**回避策はありません。

**問題：**プロキシ ARP は、同じクラスベースのネットワークを共有するサブネットに対して機能します。対象のサブネットが 2 つの異なるクラスベースのネットワークに属している場合、プロキシ ARP は機能しません。(Bugs00130163)

例：ARP プロキシは、同じクラスベースのネットワーク 192.168.5.0 に属しているサブネット 192.168.5.0/28 および 192.168.5.32/28 の間で要求/応答を転送します。クラス A または B ネットワークの処理の場合にも、この原則が当てはまります。

**解決策：**回避策はありません。

**問題：** メニュー CLI でアクティブ イメージを変更した場合、[リブート後のアクティブイメージ] フィールドは更新されません。イメージ番号を変更してリブートした場合、イメージは変更されますが、メニュー CLI は正しい表示になりません。(Bugs00132211)

**解決策：** 回避策はありません。

**問題：** CLI の使用時に、DNS を使用すると、DNS ルックアップが完了するまで、ユーザによる CLI の操作はブロックされます。(Bugs00133234)

**解決策：** ユーザが別のコマンドを実行するには、DNS ルックアップが完了するまで待機する必要があります。

**問題：** DVA 認証済みポートで再認証が試行されたときに、RADIUS 属性に VLAN 属性が含まれていない場合、再認証は失敗し、ポートが未認証の状態になるのが正常な動作ですが、このように動作せず、ポートの再認証が失敗しません。(Bugs00131469)

**解決策：** 意図的に障害を発生させるため、RADIUS サーバの VLAN 属性を削除したり、ネットワーク ケーブルの抜き差しを行ったりしないでください。

**問題：** 出力レートシェーピング機能が想定通り動作しません。ギガビットポートまたはコンポポートに対して出力シェーピングを 64 k ~ 5000 k の範囲で設定すると、結果が常に 200 万ビットになります。この問題は、新しいハードウェアリリース 1.1.1.8 で解決されました。ただし、リリース 1.0 では未解決のままです。この機能は、SG300-52/52P および SG200-52/52P スイッチでも動作しません。(Bugs00123397 および Bugs00130715)

**解決策：** 回避策はありません。

**問題：** ファイルのダウンロード後も、[ファームウェア/言語のアップグレード/バックアップ] および [コンフィギュレーション/ログのダウンロード/バックアップ] ページの [ファイル名] ボックスが拡大され青色で表示されます。(Bugs00132175)

**解決策：** ページを表示している状態で、再読み込みボタンをクリックしてください。

**問題：** 文字「+」をユーザ名またはパスワードの末尾に使用すると、ログインに失敗します。(Bugs00132366)

**解決策：** 回避策はありません。文字「+」を使用しないでください。

**問題：** コンソールで `clear cdp table` コマンドを実行すると、すべての電話がリブートされます。コンソールログには、VLAN が停止してから復帰したと記録されます。(Bugs00132482)

**解決策：** このコマンドを使用しないでください。



**問題：** 誤った MD5 キーが原因で同期が失われた場合、SNTP 同期エラー メッセージがログに記録されません。(Bugs00132636)

**解決策：** ブロードキャスト メッセージについては、回避策はありません。ユニキャストサーバの場合、SNTP サーバテーブルでは、認証に失敗したサーバのステータス メッセージは [処理中] または [ダウン] になります。

**問題：** DHCP オプション 100 による時間帯オフセットをスイッチが受信すると、不正確な値が適用されます。

**解決策：** DHCP 経由で時間帯を指定する場合、オプション 100 文字列には、オフセットが負数のときは負数を使用し、オフセットが正数のときは正数を使用します。また、夏時間では、この文字列にオフセットを複数指定しないでください。この設定は、[各種管理] -> [時間設定] -> [システムの時刻] ページで手動で行います。

**問題：** PoE イーサネット ポートを使用して PoE 対応スイッチを別の PoE 対応スイッチに接続すると、両方のスイッチが同時にもう一方のスイッチに対して電力を供給しようとする場合があります。

**解決策：** ポート間の接続に使用しているイーサネット ポートの PoE を無効にするか、スイッチ間の接続には非 PoE ポートを使用してください。

**問題：** シスコ製電話のモデル 7960 (従来の受電装置) では、クロス ケーブルを使用していると電源投入できません。

**解決策：** ストレート ケーブルを使用してください。

**問題：** HW VID=01 を使用するスイッチを稼動している場合、ファームウェアをバージョン 1.1.1.8 に更新すると 1.0 にダウングレードできなくなります。

**解決策：** これは既知の制限であり、回避策はありません。

### 主な変更点と不具合の修正

- リリース 1.1.0.75 と 1.1.1.8 の主な変更点として、既存の PoE デバイスの電源供給ができるようになりました。
- 100M SFP が挿入された状態でスイッチを起動するとスイッチの速度は 1000Mbps と表示されます。ただし、リンクを通過するトラフィックは実際には 100M のみです。SFP 検出では、想定どおり 100M-ComboF と表示されます。このリンク速度表示の誤りを訂正するには、スイッチが電源投入状態のときに SFP を挿入し直してください。
- Web インターフェイスの [Smartport] > [プロパティ] ページにローカリゼーション上の問題がありましたが、修正されました。
- ネイバーから不正な形式の Appliance VLAN ID TLV が含まれる CDP パケットを受信している場合、XML、SNMP、GUI、および CLI から CDP ネイバー情報を照会されるとそのスイッチはクラッシュします。スイッチは、CDP ネイバー情報を CDP キャッシュ テーブルに格納しています。不正な形式の Appliance VLAN ID TLV CDP パケットを送信するデバイスには、Cisco SA520、SA520W、SA540 があります。

## 関連情報

シスコ スモール ビジネス製品の最新のサポート情報を入手するには、次の URL を参照してください。

[http://www.cisco.com/web/JP/solution/small\\_business/products/routers\\_switches/small\\_business\\_smart\\_switches/index.html](http://www.cisco.com/web/JP/solution/small_business/products/routers_switches/small_business_smart_switches/index.html)

[http://www.cisco.com/web/JP/solution/small\\_business/products/routers\\_switches/small\\_business\\_managed\\_switches/index.html](http://www.cisco.com/web/JP/solution/small_business/products/routers_switches/small_business_managed_switches/index.html)

<https://supportforums.cisco.com/community/netpro/small-business/international/japan2>

CCDE、CCENT、Cisco Eos、Cisco Lumin、Cisco Nexus、Cisco StadiumVision、Cisco TelePresence、Cisco WebEx、Cisco ロゴ、DCE、および Welcome to the Human Network は商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn および Cisco Store はサービス マークです。Access Registrar、Aironet、AsyncOS、Bringing the Meeting To You、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、CCSP、CCVP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert ロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems ロゴ、Cisco Unity、Collaboration Without Limitation、EtherFast、EtherSwitch、Event Center、Fast Step、Follow Me Browsing、FormShare、GigaDrive、HomeLink、Internet Quotient、IOS、iPhone、iQuick Study、IronPort、IronPort ロゴ、LightStream、Linksys、MediaTone、MeetingPlace、MeetingPlace Chime Sound、MGX、Networkers、Networking Academy、Network Registrar、PCNow、PIX、PowerPanels、ProConnect、ScriptShare、SenderBase、SMARTnet、Spectrum Expert、StackWise、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、WebEx、および WebEx ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標です。

本ドキュメントまたはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

Copyright © 2011

OL-25696-01